

高知県産業振興計画の推進によって実現を
目指す本県産業の姿

分野を代表する目標

**木材・木製品製造業出荷額等
原木生産量**

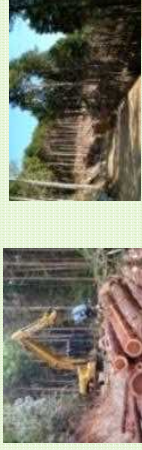
出発点 (H26) 204億円⇒現状 (H28) 207億円⇒4年後 (H31) 220億円⇒6年後 (H37) 256億円
 出発点 (H26) 61万m3⇒現状 (H28) 62.8万m3⇒4年後 (H31) 78万m3⇒6年後 (H37) 90万m3

構築した川上から川下までの仕組みを生かして、“森の資源”を余すことなく活用

柱1 原木生産のさらなる拡大

○ **生産性の向上による原木の増産**

- ・森の工場の拡大・推進
森林情報の精度向上 (林地台帳の運用開始)
- ・効率的な生産システムの導入を促進
本県の地形に適した林業機械の開発
- ・高性能林業機械等の導入・整備 (リース事業の創設)
林道整備の促進に向けた協議会・WGの開催
- ・皆伐の促進
森林組合の生産工程改善による生産性向上
- ・原木の安定供給システムの構築



○ **持続可能な森林づくり**

- ・苗木の生産体制の強化
- ・間伐の推進

○ **再造林コストの縮減**

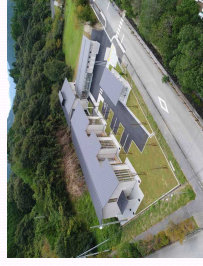
- ・一貫作業システムの促進



柱5 担い手の育成・確保

○ **林業大学の充実・強化**

- ・林業大学における人材育成
- ・**新** 専攻課程において林業・木造設計のエキスパートを育成
- ・森林組合等の県内事業者への雇用促進



○ **きめ細かな担い手育成・確保の強化**

- ・林業労働力確保支援センターとの連携
定期相談会の開催
- ・フレックスワールの実施
- ・移住施策との連携による担い手の確保
- ・特用林産業新規就業者の支援



○ **事業者の経営基盤の強化**

- ・林業事業者のマネジメント能力向上
- ・林業事業者における就労環境の改善

○ **小規模林業の推進**

- ・小規模林業の活動を支援

柱4 木材需要の拡大

○ **木質バイオマス発電所の安定稼働**

○ **木質バイオマスの利用拡大**

- ・木質ペレット等の安定供給の促進
- ・幅広い分野での木質バイオマスボイラー導入の拡大
- ・木質バイオマス発電の促進

○ **A材の需要拡大**

- ・**新** 木造化を促進するため設計へ支援
- ・**拡** デザイナー等と連携した商品開発

○ **CLT等の普及促進**

- ・CLT建築物の普及促進と需要拡大
- ・**新** 木造化を促進するため設計へ支援〔再掲〕
経済同友会との連携

○ **住宅・低層非住宅建築物における木材利用の促進**

- ・**新** 低層非住宅建築物の木造化の促進
- ・**拡** 木造化を促進するため設計へ支援〔再掲〕
デザイナー等と連携した商品開発〔再掲〕
- ・県産材を活用した木造住宅建築の促進

**森の資源を
余すことなく活用**

**林業・木材産業
クラスターの形成**

柱2 加工体制の強化

○ **高次加工施設の整備**

- ・CLTパネル工場の整備

○ **製材工場の強化**

- ・製材事業者の加工力強化
- ・**拡** 事業戦略の策定及びフォローアップ
付加価値の高い製品づくり
- ・県内企業による協業化・大型化の検討

B材 (中質材)

ラミナ用材
CLT用ラミナ工場
(H28稼働)

集成材工場
(H28稼働)

A材 (良質材)

建築用材
大型製材工場
(H25稼働)

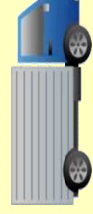
柱3 流通・販売体制の確立

○ **外商体制の強化・A材の販売促進**

- ・**新** TOSAZAIセンターによる販売促進

○ **流通の統合・効率化**

- ・県外流通拠点を活用した取引の拡大
- ・トレーラー等による低コスト・定期輸送の増加
- ・**拡** 役物定期便の定着

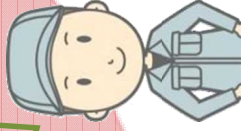


○ **販売先の拡大**

- ・県外での土佐材を使用した建築の促進
- ・**拡** 非住宅建築物への土佐材の活用
- ・海外への販売促進
海外見本市等でのPR活動



**『拡大再生産』の
好循環へつなげ、
中山間地域を元気に！**



林業分野の体系図

分野の目指す姿	○ 山で若者が働く、全国有数の国産材産地
分野を代表する数値目標	木材・木製品製造品出荷額等 出発点(H26): 204億円⇒現状(H28): 207億円⇒ 4年後(H31): 220億円⇒ 10年後(H37): 256億円 原木生産量 出発点(H26): 61万m3⇒現状(H28): 62.8万m3⇒ 4年後(H31): 78万m3⇒ 6年後(H33): 81万m3⇒ 10年後(H37): 90万m3

戦略の柱	1 原木生産のさらなる拡大	2 加工体制の強化	3 流通・販売体制の確立	4 木材需要の拡大	5 担い手の育成・確保
戦略の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟した森林資源を最大限に生かせる仕組みづくりを推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに対応した競争力の高い加工事業体を育成する ・CLT/パネル工場をはじめとする林業・木材産業界のクラスタの形成を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・大消費地や海外をターゲットとした、組織的・継続的な外高活動を展開する 	<ul style="list-style-type: none"> ・低層非住宅の木造化等により飛躍的な需要拡大を図る ・木質バイオマスの利用拡大を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた人材を育成・確保する
戦略目標	<ul style="list-style-type: none"> ・森の工場からの原木生産量(間伐)の拡大 ②⑥: 10.9万m3 → ③①: 15.1万m3 → ③③: 15.3万m3 → ③⑦: 17.0万m3 	<ul style="list-style-type: none"> ・県産製材品の出荷量の増加 ②⑥: 23.3万m3 → ③①: 27.4万m3 → ③③: 28.4万m3 → ③⑦: 28.4万m3 	<ul style="list-style-type: none"> ・県産製材品の県外出荷量の増加 ②⑥: □16.1万m3 → ③①: □20.1万m3 → ★ 0.0万m3 ★ 0.1万m3 ③③: □19.7万m3 → ③⑦: □15.8万m3 ★ 1.5万m3 ★ 5.4万m3 (□: 一般製材品 ★: 高次加工品) 	<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス利用量の増加 ②⑥: 35.6万トン → ③①: 57.3万トン → ③③: 58.0万トン → ③⑦: 60.6万トン 	<ul style="list-style-type: none"> ・林業就業者数の増加 ②⑥: 1,602人 → ③①: 1,747人 → ③③: 1,777人 → ③⑦: 1,870人 ・新規雇用者数の増加(川下・累計) ③①: 32人 → ③③: 58人 → ③⑦: 96人
取組方針・主な「具体的な取り組み」	<ol style="list-style-type: none"> 生産性の向上による原木の増産 <ul style="list-style-type: none"> ◆森の工場の拡大・推進 <ul style="list-style-type: none"> ・集約化に必要な森林情報の精度向上(林地台帳の運用開始) ◆効率的な生産システムを導入を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・本県の地形に適した林業機械の開発 ◆[拡充]高性能林業機械等の導入・整備(リース事業の創設) <ul style="list-style-type: none"> ・林道整備の促進に向けた協議会・WGの開催 ・森林組合の生産工程の改善による生産性の向上 ◆皆伐の促進 ◆原木の安定供給システムの構築 <ol style="list-style-type: none"> 持続可能な森林づくり <ul style="list-style-type: none"> ◆苗木の生産体制の強化 ◆再造林への支援と低コスト育林の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・一貫作業システムの促進 	<ol style="list-style-type: none"> 製材工場の強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆製材工場の加工力強化 ◆[拡充]事業戦略の策定支援及びフロー・アップ ・人材育成と設備整備の両面から支援 ・付加価値の高い製品づくり ◆県内企業による協業化・大型化の検討 高次加工施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ◆集成材工場の整備 ◆構造用集成材の製造 ◆CLT/パネル工場の整備 林業・木材産業界クラスタの形成 <ul style="list-style-type: none"> ◆加工施設を中心としたクラスタ形成の促進 	<ol style="list-style-type: none"> 流通の統合・効率化 <ul style="list-style-type: none"> ◆県外流通拠点を活用した取引の拡大 ◆トレーラー等による低コスト・定期輸送の増加 ◆外商体制の抜本強化 ◆[新規]IOSAZAIセンターの設置によるA材の販売促進の強化 販売先の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ◆県外での土佐材を使用した建築の促進 ◆[拡充]非住宅建築物への土佐材の活用 ◆海外への販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・海外見本市等でのPR活動 	<ol style="list-style-type: none"> 住宅・低層非住宅建築物等における木材利用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ◆公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要拡大 ◆低層非住宅建築物の木造化の促進 ◆[拡充]木造化を促進するための設計支援 ◆[拡充]デザイナー等と連携した商品の開発 ◆[拡充]新商品の提案等によるA材需要の拡大 ◆県産材を活用した木造住宅建築の促進 CLTなどの普及 <ul style="list-style-type: none"> ◆CLT建築物の需要拡大 ◆[拡充]木造化を促進するための設計支援[再掲] ◆[拡充]経済同友会との連携 木質バイオマスの利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> ◆木質ペレット等の安定供給の促進 ◆幅広い分野での木質バイオマスボイラー導入の拡大 ◆木質バイオマス発電の促進 	<ol style="list-style-type: none"> 林業・低層非住宅建築物等における人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ◆[新規]専攻課程において林業・木造設計のエキスパートを育成 ◆森林組合等の県内事業者への雇用促進 きめ細やかな担い手確保の強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆林業労働力確保支援センターと連携した就業者の確保 ・定期相談会の開催 ◆フオレストスクールの充実 ◆移住施策との連携による担い手の確保 ◆特用林産業新規就業者の支援 事業者の経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆林業事業者のマネジメント能力向上 ◆林業事業者における就労環境の改善 小規模林業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆小規模林業の活動を支援 ・林地集約化による施業地の確保